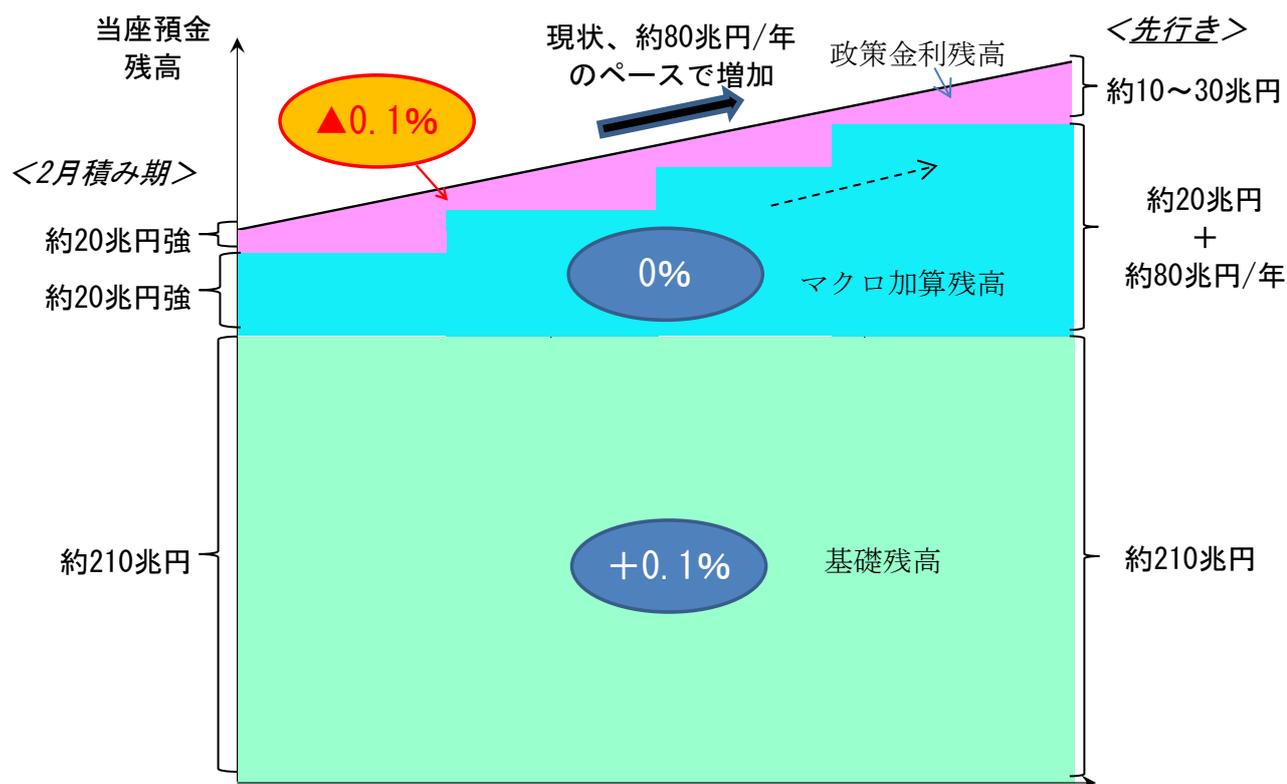
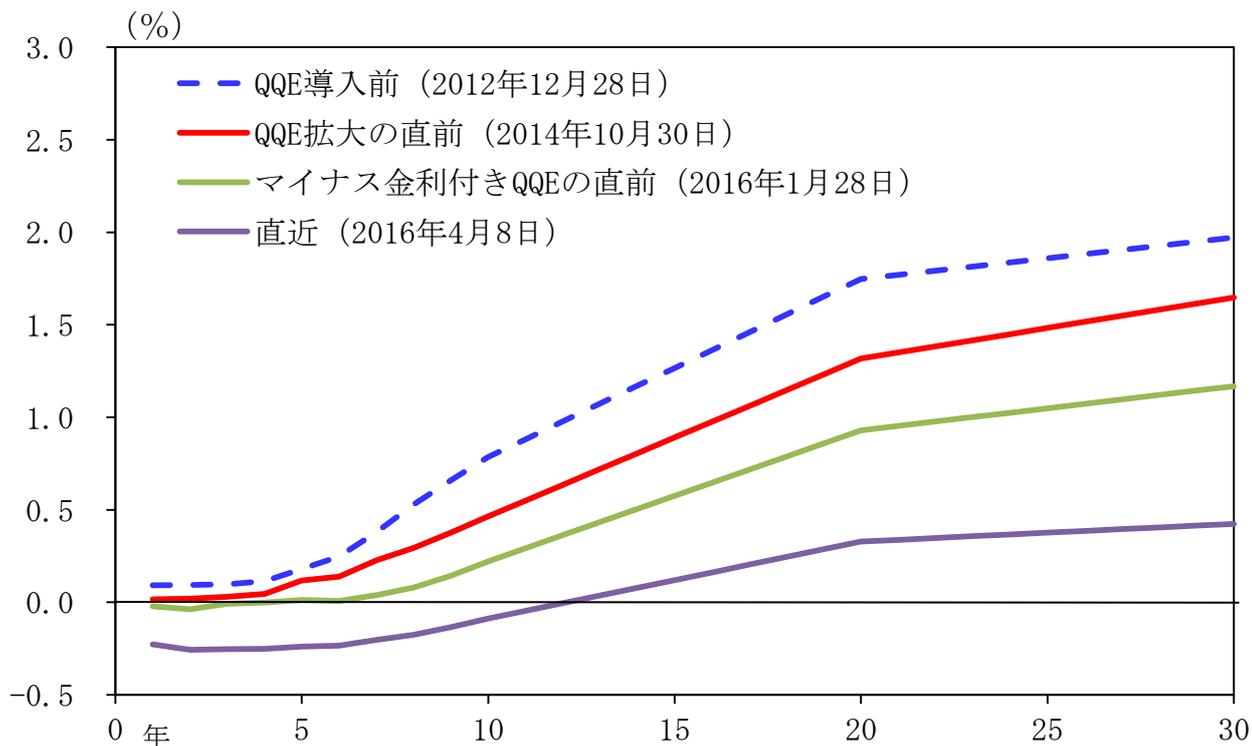


図表1 マイナス金利の仕組み：3段階の階層構造



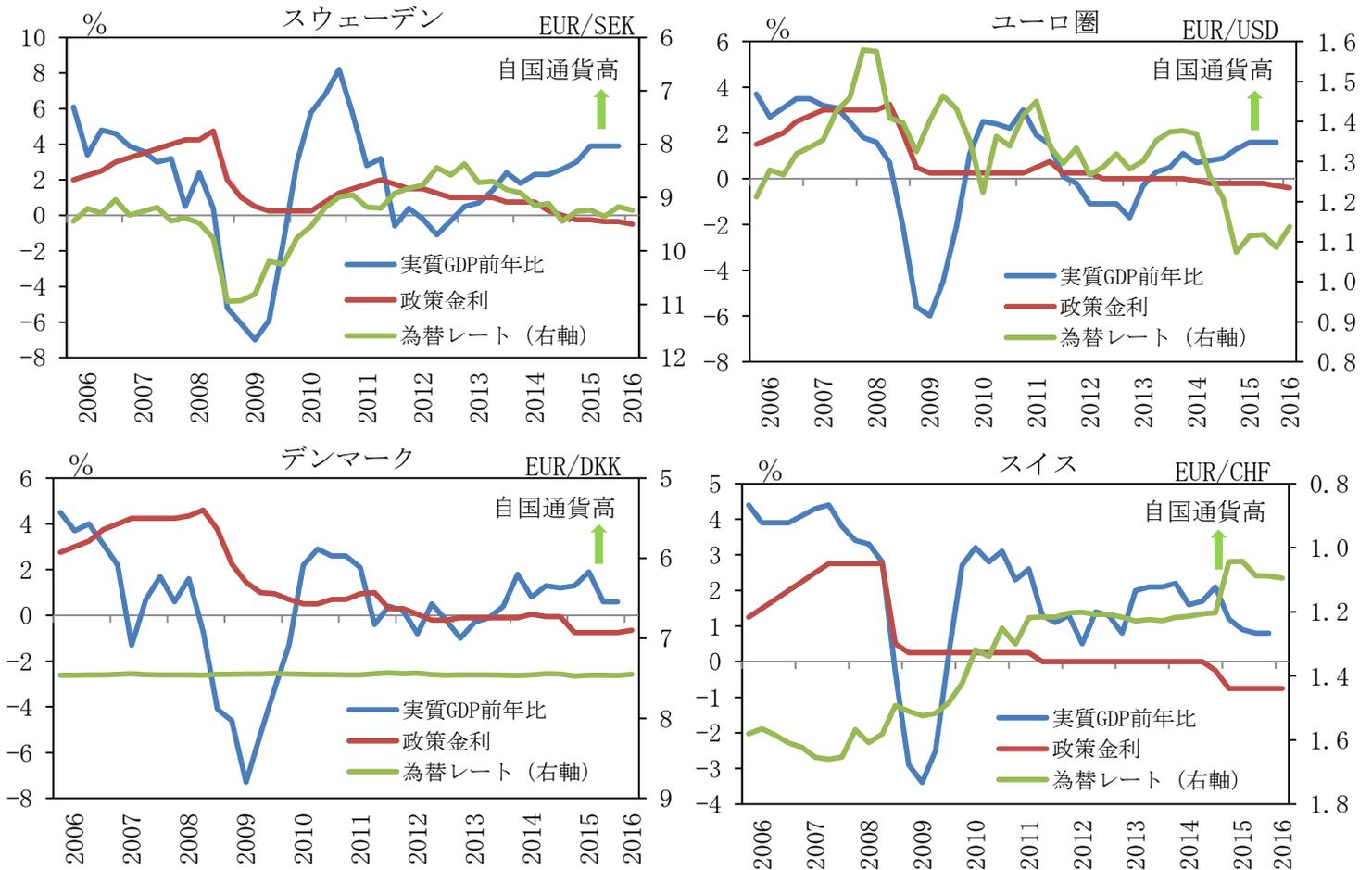
(注) 2月積み期では、+0.1%が付利されるのは基礎残高から所要準備を差し引いた約210兆円。0%の適用は、所要準備のほか、貸出支援基金により資金供給を受けている約20兆円強。-0.1%は残りの約20兆円強の政策金利残高に適用。

図表2 イールドカーブ



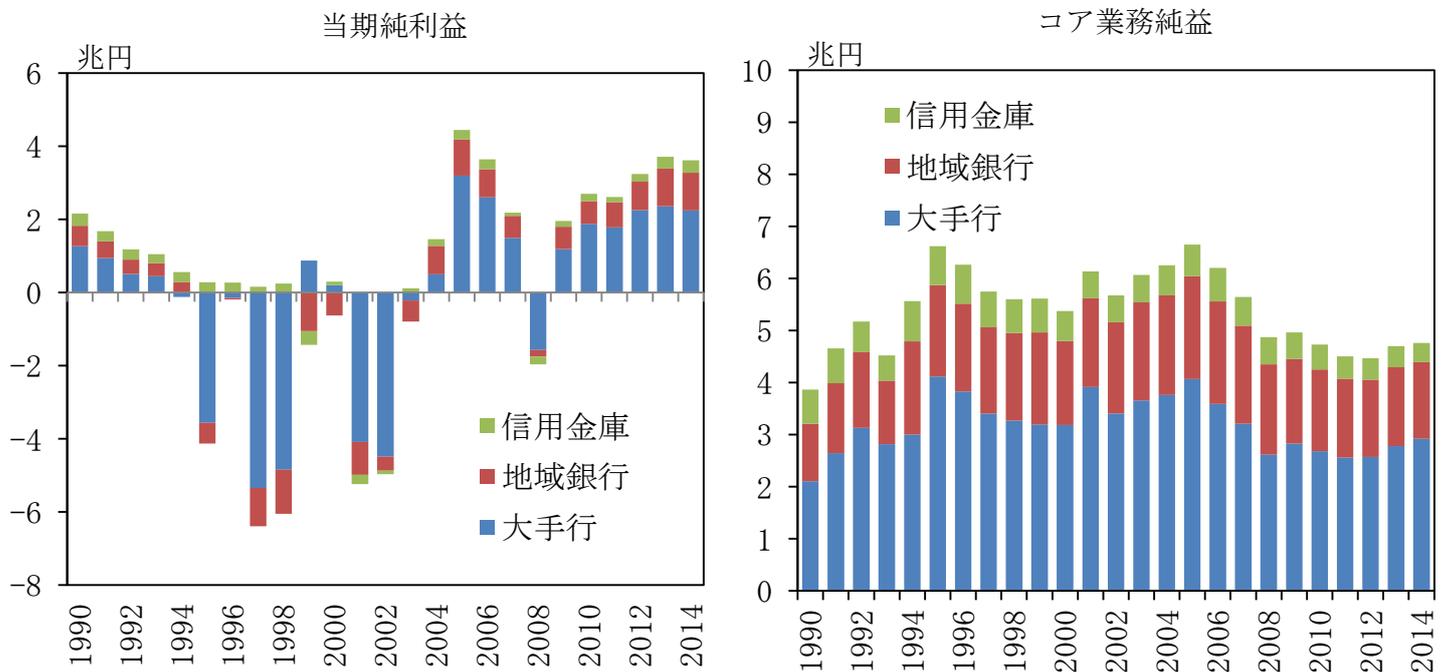
(出所) ブルームバーグ

図表3 欧州の経験



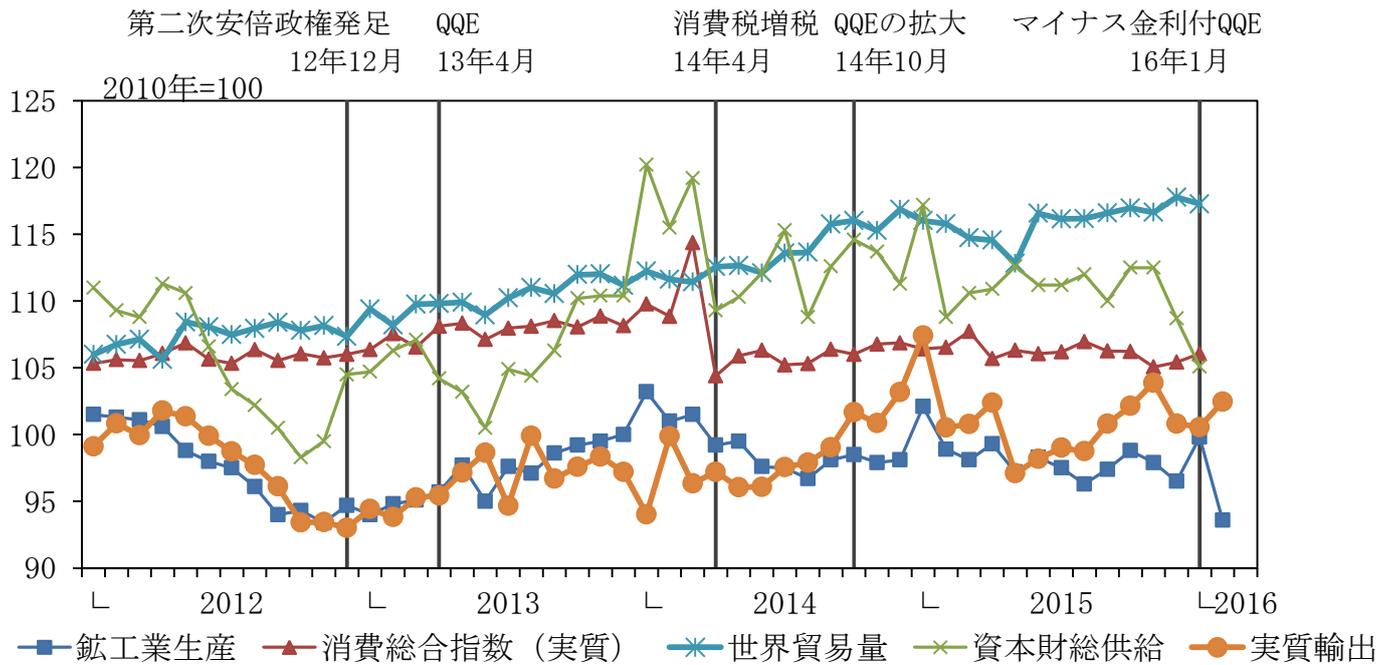
(出所) ブルームバーグ

図表4 金融機関収益



(出所) 日本銀行

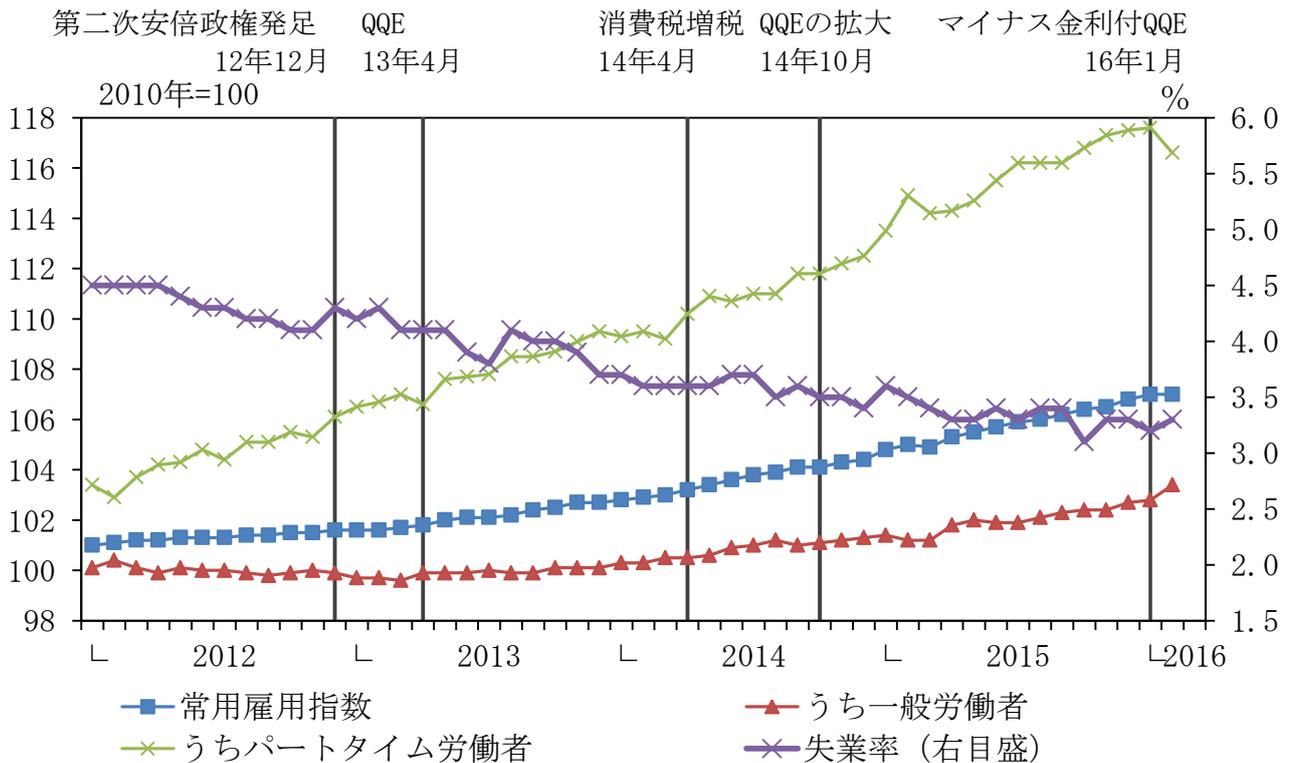
図表5 生産、消費、投資の動き



(注) 季節調整値。

(出所) 経済産業省「鉱工業指数統計」「鉱工業総供給表」、内閣府「消費総合指数」  
オランダ経済政策分析局「CPB World Trade Monitor」、日本銀行「実質輸出入」

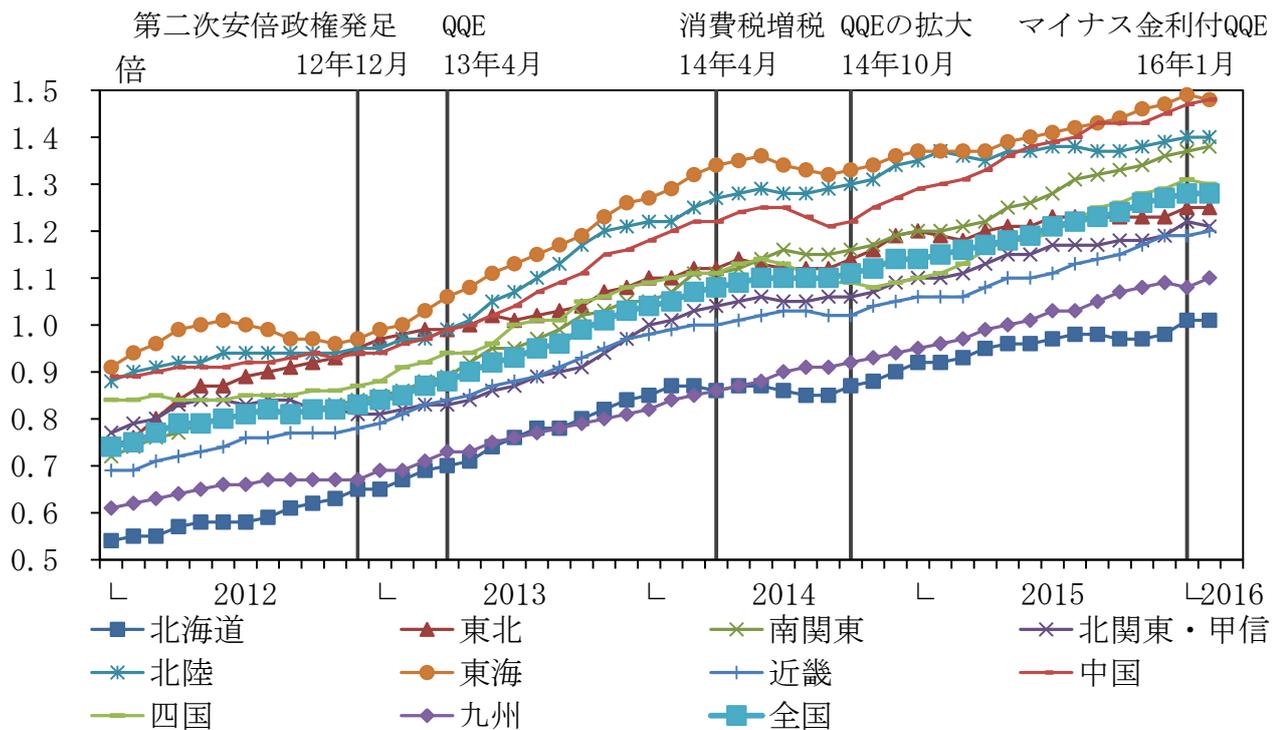
図表6 雇用指数と失業率



(注) 季節調整値。

(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計」、総務省「労働力調査」

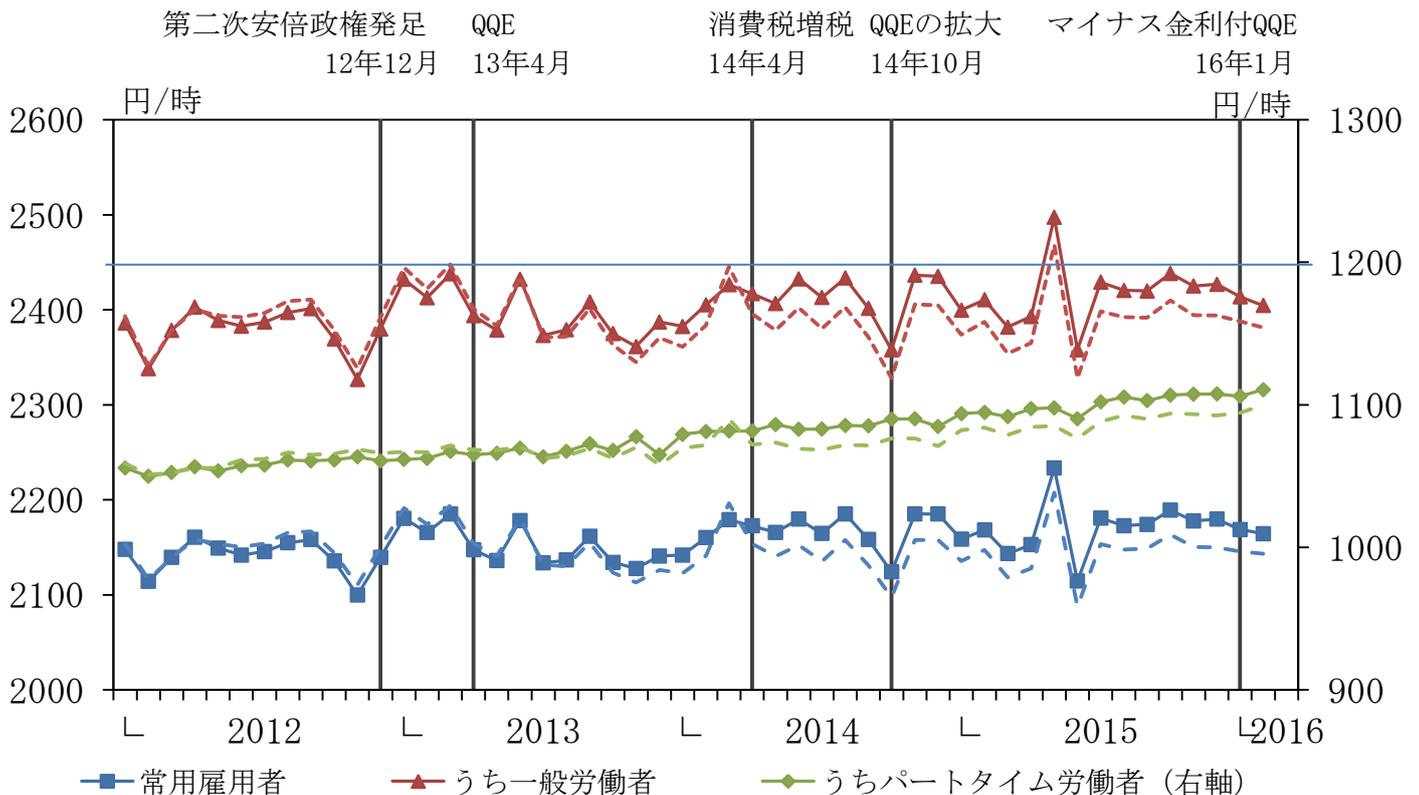
図表7 地域別有効求人倍率



(注) 季節調整値。

(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

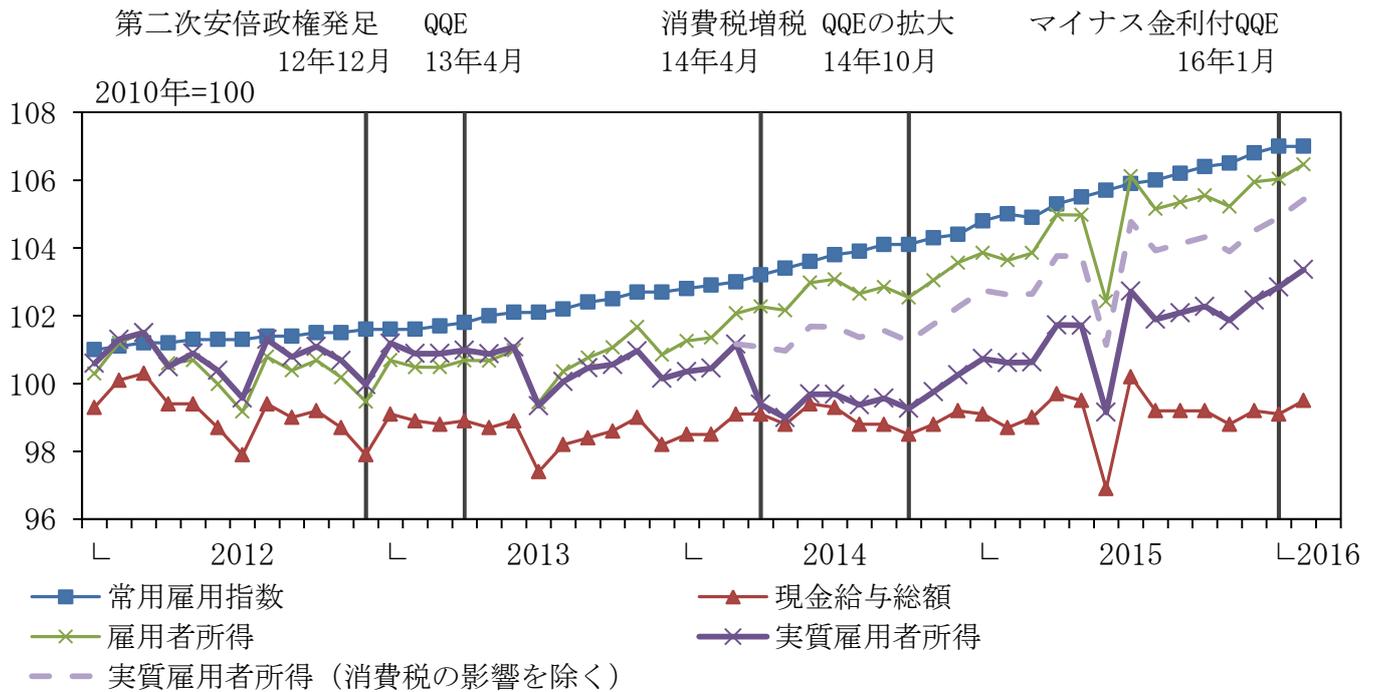
図表8 時間名目賃金と実質賃金（消費税の影響除外）（季調済）



(注) 時間当たり賃金=現金給与総額÷総実労働時間。X-11で季調。点線はそれぞれの実質ベース。

(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」

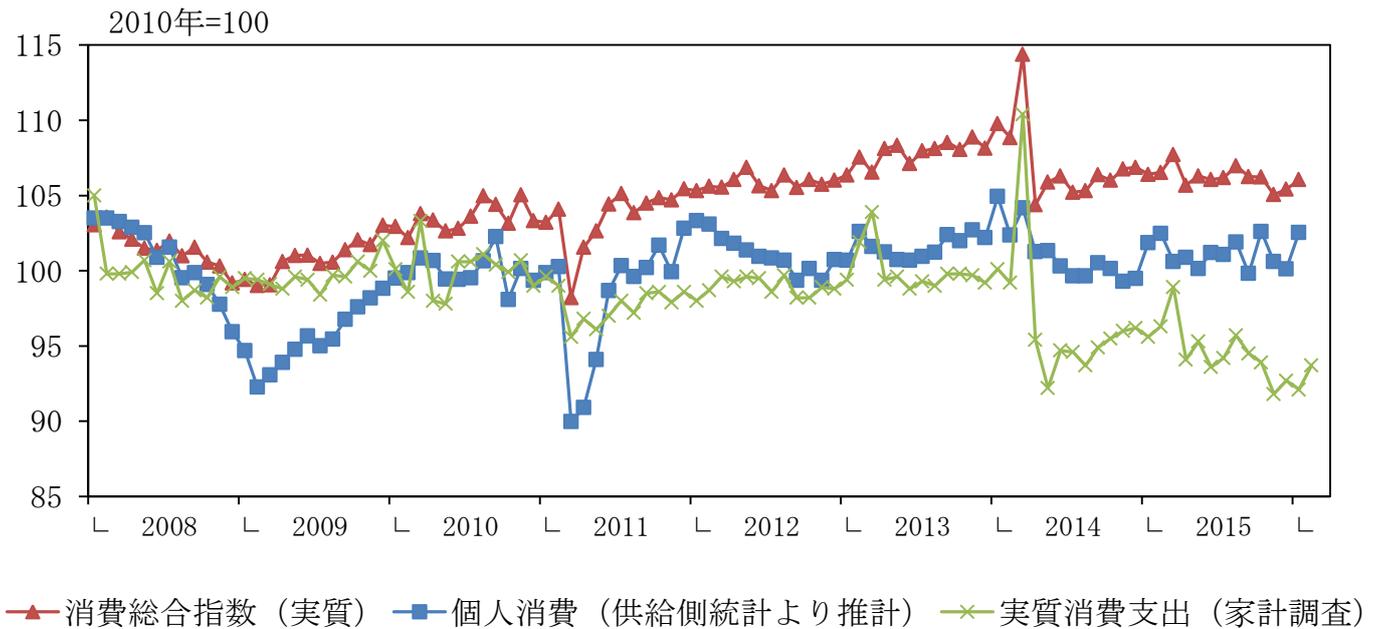
### 図表 9 賃金と雇用と所得



(注) 季節調整値。雇用者所得は常用雇用に現金給与を乗じて算出。実質化は消費者物価指数(総合除く生鮮)で除して算出。

(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計」、総務省「消費者物価指数」「家計調査」

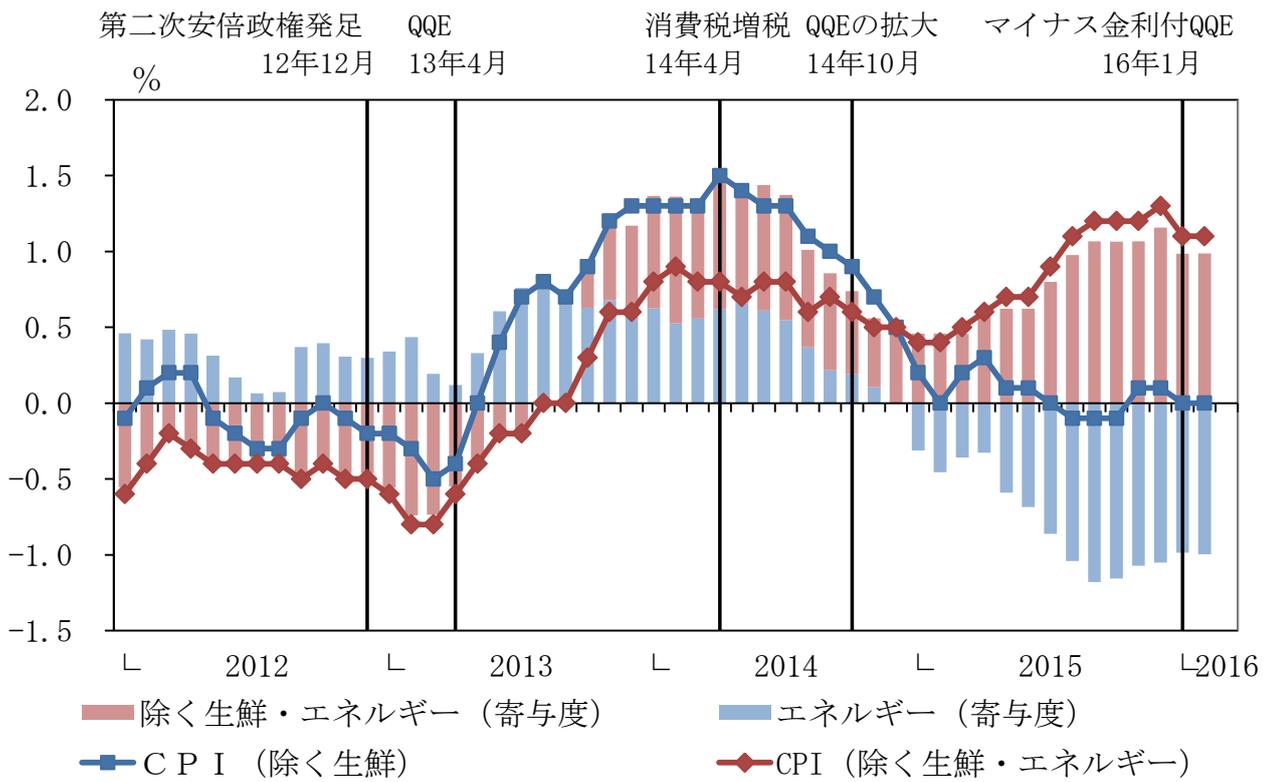
### 図表 10 個人消費の指標



(注) 季節調整値。供給側統計からの推計値は、財は消費財総供給、サービスは第3次産業活動指数の広義対個人サービス(除く小売)を用いて、SNAの財・サービスの支出割合で加重平均を行ったもの。

(出所) 経済産業省「鉱工業総供給表」、「第3次産業活動指数」  
 内閣府「消費総合指数」、総務省「家計調査」

図表 1 1 C P I (除く生鮮) 前年比の分解



(出所) 総務省「消費者物価指数」